

子供の薬の飲ませ方

子供は薬の味をいやがるのがよくありますが、薬は医師の指示通りにきちんと飲んで始めて効果が出るものです。飲ませるためコツや工夫を知っておきましょう。

苦いからやだ！



おくすり飲まないとい直らないよ！

決められた回数を必ず守る

子供は症状によって、食事をとれないこともあります。食事をとれなくてもお薬を飲ませることを優先して、決められた回数を守って飲ませてください。

飲めたらほめる

何歳の子供でも、お薬が飲めたら必ず笑顔でほめてあげてください。

ちゃんと飲めたねえらいね！



粉薬が飲みづらい場合は 飲みやすいものに混ぜる

粘り気のある食品(チョコレートやアイスクリーム)に混ぜます。

※混ぜるときの注意!

薬をミルクに混ぜると、薬の味や食感が原因でミルク嫌いになることがあります。また、薬によってはお湯で溶くことで苦みができることがありますので、お湯で溶くことはしない方がよいでしょう。

1歳未満の場合は、乳児ボツリヌス症を発症する可能性があるため、ハチミツは使わないでください。



3歳前後になったら説明を

お母さんの言うことが理解できるようになったら、「なぜお薬を飲まないといけないか?」を説明してからお薬を飲ませてください。